

報道資料

平成 27 年 10 月 28 日

子育て支援企業の J P ホールディングス (証券コード 2749)

親子で楽しめる子どものつまずきサポートブック**『「どうしてそうなの？」と感じたときに読む本』**

11 月 11 日に P H P 研究所から発行

保育園、幼稚園——子どもが最初に出会う「集団生活」の場。子どもたちは保育園、幼稚園でどんな生活をしているのか。子どもは初めての「集団生活」の場で様々なつまずきを体験します。この本の前半では、様々なつまずきを絵本にしてわかりやすく取り上げます。

*** うちの子は園で朝の支度(タオルやコップを出し、荷物をロッカーに入れる)ができない**
*** うちの子は先生の話聞いていない * うちの子はほかの子どもと遊べていない e t c**

本の後半では、そうした子どものつまずきの「どうして？」を解き明かします。何故つまずいているのか。理由がわかったら、お父さんお母さんは家庭で子どもをどうサポートしたらよいのか——それが見えてきます。

この本を企画・編集したのは保育所運営最大手の株式会社 J P ホールディングス (荻田和宏代表取締役・東証 1 部) グループの株式会社日本保育サービス・発達支援課のメンバー。発達支援課は子ども、保護者、そして保育園、放課後児童施設などの現場サイドを巡回して、子どものつまずきを解決するサポートをしています。発達支援課は、本来、発達障害などの調査・支援を使命とした部署。日本保育サービスは 159 施設の保育所を運営していますが、在籍児童 11,203 名のうち発達支援対象児は 1,207 名 (10.8%)。発達支援課に寄せられる保護者、あるいは保育者から悩みや相談を受け、保育園や幼稚園と家庭をつなぐことが必要、と考えたのがこの本をつくるきっかけとなりました。

価格は 1,200 円 (税別)、P H P 研究所から 11 月 11 日に発行されます。

報道各位からの問い合わせ先
(株) J P ホールディングス東京支社
社長室 楚山・小倉
TEL 03-5332-7888
FAX 03-5332-7889

子どものつまずきの「？」に答えます！

毎朝の支度に時間が
かかりすぎる気がする
のですが…

落ち着きがなく、すぐ
どこかへいってしまう
のはどうして？



「どうしてそうなの？」と 感じたときに読む本



親子で楽しめる
子どものつまずき
サポートブック

〔編著〕 株式会社日本保育サービス
発達支援課 調査研究チーム

〔監修〕
汐見稔幸 (白梅学園大学学長)
稲田尚子 (東京大学大学院教育学研究科教育科学研究員)

PHP

11月11日
発売

A5判 / 80頁 / 定価 1,200 円 + 税 / 発行: PHP 研究所 / イラストレーション: 清水俊博

園に行くと、お友達と
あまりしゃべらない
みたいで…

給食をほとんど
食べていない
ようなのですが…



集団行動の中で起こりやすい“つまずき”の理由を解説し、
家庭でできるサポートのヒントをお伝えします。

この本の使い方

- 1 園での1日の様子が描かれた「お話」部分を読みます 保護者が読んでも良いですし、お子さんと一緒に読んで会話のきっかけにすることもできます。
- 2 「お話」で描かれたつまずきの理由のうち、どれが当てはまるのかを考えます お子さんの行動の背景にある本当の理由について、考えられるようにしています。
- 3 家庭でできるサポートのヒントを参考にお子さんのサポートを行います 園での保育者の取り組みを参考に、家庭でもできることを提案しています。

お近くの書店またはネット書店でお求めください